

2019年05月08日

入院診療を受けられた患者さんへ

「ポリコナゾール注射剤から経口剤への変更による 血中濃度推移の評価」への協力をお願い

薬剤部では、過去に下記のような診療を受けた患者さんの試料・情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2011年1月～2018年12月に当院において、ポリコナゾールの投与を受けられた方

研究期間：倫理審査委員会承認日～2021年3月31日

研究目的・方法：ポリコナゾールは血中濃度を測定して用量を調節することが推奨されています。経口剤および注射剤のポリコナゾールを投与され血中濃度が測定された患者さんの血中濃度を調査し、投与経路変更による血中濃度の変動を評価します。

研究に用いる試料・情報の種類：診療録から感染症名および基礎疾患（悪性腫瘍、自己免疫疾患）、年齢、性別、身長、体重、ポリコナゾール使用状況（投与量、投与回数）、併用薬（カルシニューリン阻害薬、ステロイド、プロトンポンプ阻害薬、抗がん剤）、臨床検査値（白血球数、好中球数、血小板数、血清クレアチニン値、BUN、血清アルブミン値、CRP、eGFR、CLcr、AST、ALT、ALP、 γ -GTP、総ビリルビン値、ポリコナゾール血中濃度）の情報を収集します。

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究に関する質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会の承認を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当院における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び岐阜大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

連絡先

岐阜大学医学部附属病院 薬剤部

電話番号 058-230-7088

氏名：原田 紗希

研究責任者

岐阜大学医学部附属病院 薬剤部

氏名：鈴木 昭夫